

自治体改善の輪 通信 2017 No1

7月30日(日) 第1回自治体改善ステップアップセミナーを開催



＝第1回テーマ＝ 『地方創生を推進する課長・係長の役割と働き方』

『自治体改善ステップアップシート』で自己紹介！

「自治体改善ステップアップセミナー」は、自治体改善マネジメント研究会が NPO 認証を受けて初めて主催したセミナーです。北は岩手県から南は熊本県まで、全国各地の自治体職員だけでなく民間企業や元国家公務員など総勢 34 名にご参加いただきました。

最初にウォーミングアップとして、今回のテーマに合わせた「自治体改善ステップアップシート」職場編(簡易版)を活用して、各自が自職場をイメージしながら記入し、その後、3～4人のグループになって互いの職場やマネジメントのあり方を紹介しました。



管理職は、何のためにいるの？ どんな課題を抱えているの？

ゲストトークでは、大阪市教育委員会事務局顧問 元東淀川区長 金谷一郎氏から、セミナータイトル「地方創生を推進する課長・係長の役割と働き方」についてお話しいただきました。

人口減少に伴い財源確保が難しくなっている中、高齢化・少子化などの課題や住民ニーズへの対応、地方創生を推進するためには、ミドル層である課長や係長が重要な役割を担っているとのことでした。

上と下をつなぐ中間層として、コミュニケーションを充実させることと、他力と自力のバランスが非常に大切であるとのポイントをお話しいただきました。



自治体ごとの経営環境の違いが、職場に大きく影響



その後のパネルディスカッションでは、当研究会の代表元吉由紀子がコーディネートして、金谷氏を交え、パネリストとして三重県地域支援課長の後田氏と横浜市資源循環局政策部長の鈴木氏、須坂市商業観光課長補佐の寺沢と語り合いました。

自治体によって規模だけでなく、首長の交代や行政改革の経緯が異なります。組織目標や使命をどう設定しているか、共有しているのか、業務の進め方や改善の取り組み状況なども、これらの経営の背景要因と関係があることを改めて認識しました。

職場では、組織目標を共有し、管理職と職員がそれぞれのレベルにブレイクダウンして、目標達成に向けた役割を担っていく展開を図ることや、そのためのコミュニケーションが欠かせないことを共有しました。

～ ランチタイムには、グループでお弁当を食べながら個人的な話もして、ネットワークづくりをしていました。～

職場と自分の成長につながる次の一步は？

次に「自治体改善ステップアップシート」の詳細版を使い、各設問「現場対応」と「上位方針に基づく使命」、「職場の改善・改革」と「組織目標」、「関係者との連携」、「人材育成」ごとに、どんなレベルの違いがあるのかに着目して、個々の職場の現状を理解し合い、今後改善する方法についてアイデアを出し合いました。

各グループで出た意見は、貼り出して、全体で可視化していくと、共通点も多く見受けられました。

組織の中間層である課長や係長が上位計画の方針を翻訳して、担当職員に伝えること、また、現場の実情を踏まえて使命や目標を設定し、達成に向けて現場と一緒に進行管理をしていくことなど。

管理・監督職に求められる役割から、自分にとっての一步が見定められたのではないのでしょうか。



♪職場を元気にするアプローチ♪

途中気分転換として、各自職場で実践している職場を元気にするアプローチをご紹介いただきました。

- ✓ 職場に花を飾る
- ✓ 大きな声で挨拶
- ✓ アニバーサリー休暇
- ✓ 職員行動指針の唱和
- ✓ ランチ会
- ✓ 朝礼でスピーチ
- ✓ ラジオ体操
- ✓ オリジナルの踊り
- ✓ 夕礼でメリハリをつける
- ✓ 部内限定のフェイスブック開設

など、いろんな工夫があるものです。それぞれの地域や職場をイメージしながら、お互いの人となりも垣間見られて、より親近感を感じることができました。



成熟社会における自治体の方向づけと改善・改革

最後に金谷氏から、まとめのご意見をいただきました。

- ✓ 何かやらなければいけないと指示しても、組織がどの方向に行くのかを伝えていなければ、ベクトルが異なり、余計な労力をかけている可能性がある。
- ✓ 高度経済成長時代のままではなく、成熟社会に自治体を運営するとはどういうことかをとらえていないと、本当にやるべきことができなくなってしまう
- ✓ 改善と改革は根本的に違う、これからは今までと全く異なる発想の改革が必要になる
- ✓ 改善に取り組んでいるのか、改革を行っているのかを明確にしておかなければいけない

セミナー終了後は、交流会も行なって、さらに親交を深めました。



地方創生のヒントがちりばめられた場

自治体が地方創生を推進するにあたっては、国に依存せず各地方の実情に応じて、自分事で考え、実践しながら経営の最適解を導き出す必要があります。今回の場合は、行政組織のミドルマネジメントをテーマに、オリジナルの手づくりセミナーでしたので、それぞれに得るものも多いセミナーだったものと思われます。

今後研究会では、自治体改善運動の事例収集や、結果の情報発信、今回使った「自治体改善ステップアップシート」をトライいただける「出張！改善セミナー」などを通じて、よりよい役所づくり、地域づくりを支援していきます。（文責：長野県須坂市寺沢）